



UX デザイン研究室

UX Design Lab.

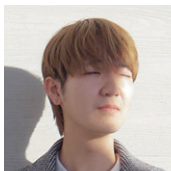
益岡 了

MASUOKA, Ryo / Professor

季節を感じることのできる障子

Shoji that allows you to feel the seasons

最近の日本では障子を家に取り組むのが減少している風を感じる。障子は日本古来の伝統的な建具のひとつです。住宅の近代化によって障子のある家は少なくなってきましたが、障子にはほかの建具にはない機能性や利点があることをご存じでしょうか。それで私は現代の家でも取り入れることのできる障子を提案しようと思いました。それは障子の部分を和紙ではなく他の素材にすることで障子の破れやすかったデメリットをなくそうとおもいました。その中でも季節感を感じることのできる障子の提案をしようと思いました。

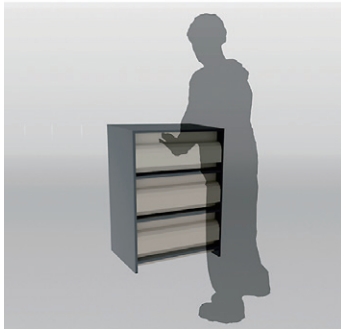
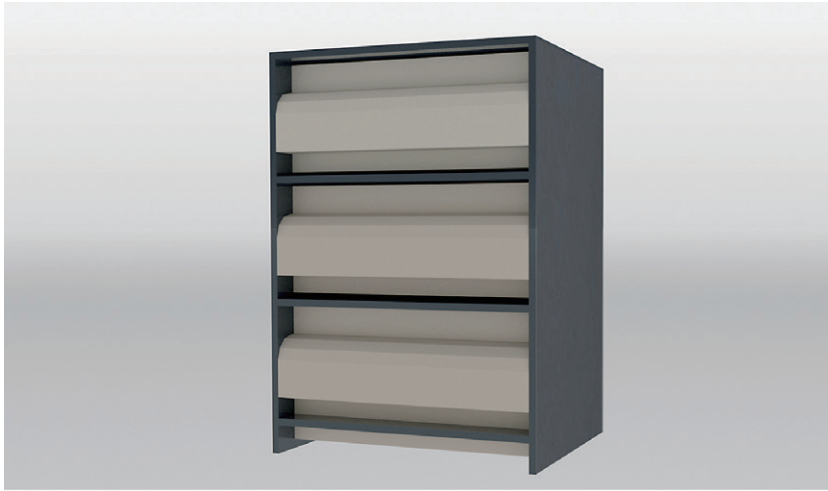


木之下 右京
KINOSHITA, Ukyo



RAKU RACK 収納動作を少し楽にするために

RAKU RACK: To make it easy to put away and take out things



私は体幹・身体機能が著しく弱いため、特にかがんだり立ち上がる動作が苦手である。周りの人は、私によく「大変そうだね」という。私にとっては、なんとか頑張ればこなせる動作だが、改めて考えると私は日常動作で小さな苦勞をたくさんしていると思った。

そんな私にとって、なんとか頑張っている部分を少しでもらくに過ごせるラックを提案したい。

このラックは衣類を収納することを目的とし、一般的な収納棚の定形から離れすぎず、取り出しやすさ・かがんだ姿勢の補助に繋がることをあたまに置きデザインした。

私が少しでもらくをするために始めたことだが、他にもこの家具を必要とする人がいるだろう。少しの苦勞を少しでも楽にするために、同じ状況下の人にも届いて欲しいと思う。

木原 健太郎

KIHARA, Kentaro



HAREGI

HAREGI

日本と韓国には、新年を迎えることを祝して「晴れ着（着物）＝ソルビム（韓服）」を新調する共通文化があることを知っていますか？

私は両国のルーツを持ち生まれました。歴史的背景の壁は残りつつも現在の日本では韓国に興味を持つ人は多く、交流は深まる一方です。そんな暮らしの中で発見や学びに溢れた今を生きる私の喜びを、文化と文化の出会いを祝う「HAREGI」として表現しました。

「HAREGI」の上衣（チョゴリ）には、これからも変わらない両国の幸せを願い、流水文という模様を一面に使用しました。これは着物に多く用いられる吉祥模様の一つであり、流れる水は腐らないことから「永遠」の意味を持ちます。また、下衣（チマ）には、五色色の一つである青色を使用しました。五色色はソルビムにも多く見受けられ、物事の調和と人々の平和に向けた願いが込められています。中でも青は「万物の誕生」を意味し、文化と文化が調和し平和が続くようにという思いを込めました。



黒木 夕希帆
KUROKI, Yukiho



UNWAVE 作業服でも自分の好きなスタイルを

UNWAVE: Even in work clothes, you can choose your favorite style



don't wear
normal
work clothes



UNWAVE



I wear cute clothes so
I don't worry about
them getting dirty.

建築業界において、女性の就業数が増加していることはご存じだろうか。ほかの業界と比較しても、長らく男性主体の状態が続いていた。しかし、近年では国や業界の積極的な取り組みにより、女性が長期間働ける環境づくりが進み、建築業界で働く女性の愛称「現場女子」なども広まっている。一方で、作業服の問題が課題のとされている。男性用ばかりでサイズが合わない、おしゃれなデザインの選択肢が限られているというのが現場女子たちの実情である。

この課題に対処すべく、作業服でもおしゃれであり、好きなファッションは妥協せず楽しむことができる現場女子のためのアパレルブランド「UNWAVE」を提案する。今回UNWAVEは、作業服に必要な機能性を保ちつつも、デザインやカラーリングを特徴とした3つのコーデを制作した。この新たな作業服の形が、現場女子の個性やスタイルを尊重し、表現できるような選択肢を提供できることを期待する。

小西 幸音
KONISHI, Yukine



S-cate Dish 一人暮らしの自炊を効率化する保存容器

S-cate Dish: Useful food storage containers for living alone

一人暮らしの生活では、疲労や時間の無さから食事が疎かになりがちである。一人暮らしを始めてから体重が減ったという話はよくある。簡単なメニューや冷凍の有効活用など様々な工夫が増えているが、毎食作るのは非常に大変であり、一人暮らしの食生活には「作り置き」がもっとも適していると考えられる。

そこで、作り置き料理をそのまま食卓に出すことができる保存容器を提案する。主菜、副菜、付け合せ用の3種類。料理の回数を減らし、食事までにかかる時間を総合的に短くする。一般的な保存容器とは違い、料理の見栄えや、収納、一品ごとの適正量にも配慮している。料理の見栄えは食欲や味覚に影響を与え、食事をより良いものにしてくれる。

一人暮らしでも、十分な栄養を摂取できる食事を可能な限り補助する。



芝原 拓人

SHIBAHARA, Takuto



THE CHAIR ツボで調子良くなった気がする

THE CHAIR: Thanks to the pressure points, I will feel better.



提案するのは心理効果を利用した無意識的にツボを刺激する椅子です。

疲れてしんどい時、ツボを押してみたことありませんか？効果感じれますか？

ツボを刺激することはWHOも認めている治療法ですが、実際ツボを刺激し効果を実感している人は少ないのが現状です。本来ツボを刺激すると乱れた自律神経が整うことによってストレスや不調が解消されます。この効果を最大限に感じるためには「ストレスをかけない」、「ツボの効果を期待させない」の2つと導きました。

この2つはゲインロス効果と呼ばれる心理効果に関係しています。心理状況においてプラスからマイナスの振幅によって心に影響を与えるのがゲインロス効果ですが、マイナスからプラスの印象を与える方が好印象を与えます。つまりツボを押すためだけの動作、ツボの効果に期待してしまう雰囲気を取っ払うことが必要ということです。

THE CHAIRはその要素を取っ払いツボの効果を感じやすくなった椅子です。



山口 陸斗

YAMAGUCHI, Rikuto

accegli 身に着けない時もアクセサリーを楽しむ

accegli: Enjoy accessories even when you don't wear them

使わなくなったアクセサリーどうしているか？

「新しいものを買ったから」、「デザインに飽きたから」などの理由で身に着けることがなくなったアクセサリーが多いのではないかな。

accegli (アクセグリ) は身に着けない時もアクセサリーを楽しむプロダクトである。アクセサリーはどこから見ても綺麗であり、髪や袖から垣間見える瞬間も魅力的だ。そんなアクセサリーの特徴と日常的に使うプロダクトを組み合わせたのがaccegliだ。

このプロダクトを通して、「使わなくなったアクセサリーを再び身に着けること」や、「普段アクセサリーをしない人がアクセサリーに興味を持つこと」のきっかけの一つになるだろう。



山本 健太

YAMAMOTO, Kenta

